

## 令和6年度 学校教育相談課題別研修D（貧困問題の理解と対応） 実施要項

- 1 目的 貧困問題について理解を深め、教育相談を実践するための理論や技法を習得するとともに、地域や関係機関との連携の在り方など幅広い知見の習得を図る。
- 2 対象 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、支援学校の教職員。

募集人数 80名

## 3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	7月22日（月） 14:00～17:00	子どもの貧困問題の理解と対応 〔講義〕	大阪公立大学 教授 山野 則子

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m  
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m  
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。  
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。  
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センター及びその他の研修会場に駐車できません。
- 6 担当室 教育相談室

令和6年度 学校教育相談課題別研修D（貧困問題の理解と対応）  
シラバス

2342

## 1 目的

貧困問題について理解を深め、教育相談を実践するための理論や技法を習得するとともに、地域や関係機関との連携の在り方など幅広い知見の習得を図る。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期		○	○										○	○	○
第1期															
第0期															

## 3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	子どもの貧困問題の理解と対応	子どもの貧困問題について理解し、地域や関係機関との連携の在り方についての認識を深める。	講義を通して、子どもの貧困問題の現状について学ぶとともに、子どもの貧困問題の早期発見、早期対応について学ぶ。	